



くまだ ひろし 議員
熊田 宏

財政運営について

ふるさと納税制度の環境整備と

計画的なインフラの長寿命化を進める

財政運営について

計画的かつ効率的に対応

熊田 財政運営を考えるとき、忘れてはならないのは儒教経典の礼記・王制にある『入るを量りて出るを制す（為す）』に倣い、まず歳入を把握してから歳出を計画することである。

歳入についてはふるさと納税制度の目標額とその取組み方、また、歳出削減策としてはインフラの長寿命化について問う。

町長 ふるさと納税によるこれまでの寄附金額につきましては、平成27年8月末現在、107件、

カタログギフト方式を採用しました。

805万4588円となっており、年度平均にして15件、約100万円となっておりません。

寄附金額の多い自治体の共通した特徴としては、「魅力ある謝礼品」「クレジット決済の活用」「インターネット上での各種申し込み」等が挙げられ、このような先進自治体の取り組み状況を参考としながら、本町でも今年の9月1日より、これら環境の整備を図り寄附金の申し込みを開始したところでありませう。

なお、謝礼品の送付にあたっては、ポイント型

上で重要な課題であると考えております。

寄附金目標額につきましては、今年度は、謝礼品事業が年度途中での開始となったことから、これまでの年度平均の約10倍、100万円を目標としております。

次に町内の施設や道路、上下水道設備の長寿命化についてであります。道路・橋梁・上下水道等のインフラを含む公共施設の老朽化が進んでいる中で、施設の更新・統廃合・長寿命化を図り、町民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るコスト削減に取り組むことは、持続可能な町政運営を実現する

町民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るコスト削減に取り組むことは、持続可能な町政運営を実現する



ふるさと納税商品カタログ

町民の安全について

防犯カメラの設置を検討

熊田 夏休み中に寝屋川市で中学一年生が犠牲になる事件が起きた。

今回の事件のみならず、過去の事件の犯人検挙のきっかけになったのは防犯カメラがあげられる。

町内の防犯の取組強化と犯罪の抑止力向上の手段として防犯カメラ設置を進めるべきであると思いが、町長の考えは。

町長 防犯カメラには一定の犯罪の抑止力があることは疑いのないことである。矢吹駅、本町においても、矢吹駅、小中学校

等の公共施設及び金融機関等の民間の施設、店舗等に防犯カメラが設置されております。防犯カメラの設置には、届出義務等がないため詳細な設置場所・設置数は不明であります。公共施設等については管理者と協議し必要と思われる場所に設置するよう検討してまいります。

また、各小中学校の防犯カメラの設置台数は矢吹小学校に4台、善郷小学校に1台、中畑小学校に2台、三神小学校に4台、矢吹中学校に7台を設置しております。